

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

智頭町長 金 兒 英 夫

市町村名 (市町村コード)	智頭町 (313289)
地域名 (地域内農業集落名)	中原地区 (中原集落)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年2月27日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。  
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

令和4年5月実施の農業・農地に関するアンケート調査によると、当地区の農業者の平均年齢は68.7歳であり、町平均の70.1歳と比べると低いものの、農業に従事する件数が少なく(水稲の作付を行う戸数は、地域内の13%程度)、農地を維持する担い手は不足しており、ほとんどの農業者に後継者のめどがついていない。田畑が狭隘で段差も多く、集積化が難しいことなどから、経営規模として販売には至らない自家消費の農家がほとんどであり、肥料代等の高騰も重なり、経営の採算が合わず、水路の補修や機械の更新をしてまで農業を続けられないとの声が多い。このような状況であるため、退職後に農業をしたいという意向の住民も、見通しが立たないと難色を示している。  
また、水がとれなくなった農地を畑作に転換するも、獣害被害が深刻で、休耕田を再生することもなかなかできない。さらに、人工林が高くなり、日照時間が少なくなるなど、営農環境も悪化している。

(2) 地域における農業の将来の在り方

地域内自給の仕組み(作り手と買い手)づくりや、地域全体で農産物のブランド化による販売価格アップに取り組むなどし、生産の維持を図る。  
関西に近い地の利を活かして、ホビー農業の提供から若い移住者(農業者)の確保等を考えたり、条件不利でも損をしない土地利用のあり方を検討する。  
水稲の作付が難しい農地の維持・活用として、果樹・花き・ハウス野菜、景観作物等の作付を検討する。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	12.0 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	5.0 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

智頭町大字中原(中原集落)地内で、小規模な畑を除き、現在耕作が行われている比較的条件的の良い農用地とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
一体性のある農地を1つのエリアとしてくり、活用計画を作成する。 優良農地の集約・集積化を図る。 農地の相続や貸借の円滑化を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方針
(一社)山郷地区振興協議会に利用権設定、集積(受委託による耕作)する。
(3)基盤整備事業への取組方針
水路の保全と農道の整備を行う。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
農地を県外の人にレンタルしてもらうなど、入り作を積極的に受け入れる 森林セラピー、キャンプ場、いのちね等の利用者と交流するツールとして農地利用を検討する。 地区振による経営の可能性を探る。 休耕田を使った養魚場の運営を検討する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
麦の精麦機等の支援(借受)があれば活用したい。 農機具の整備技術講習なども受講していきたい。

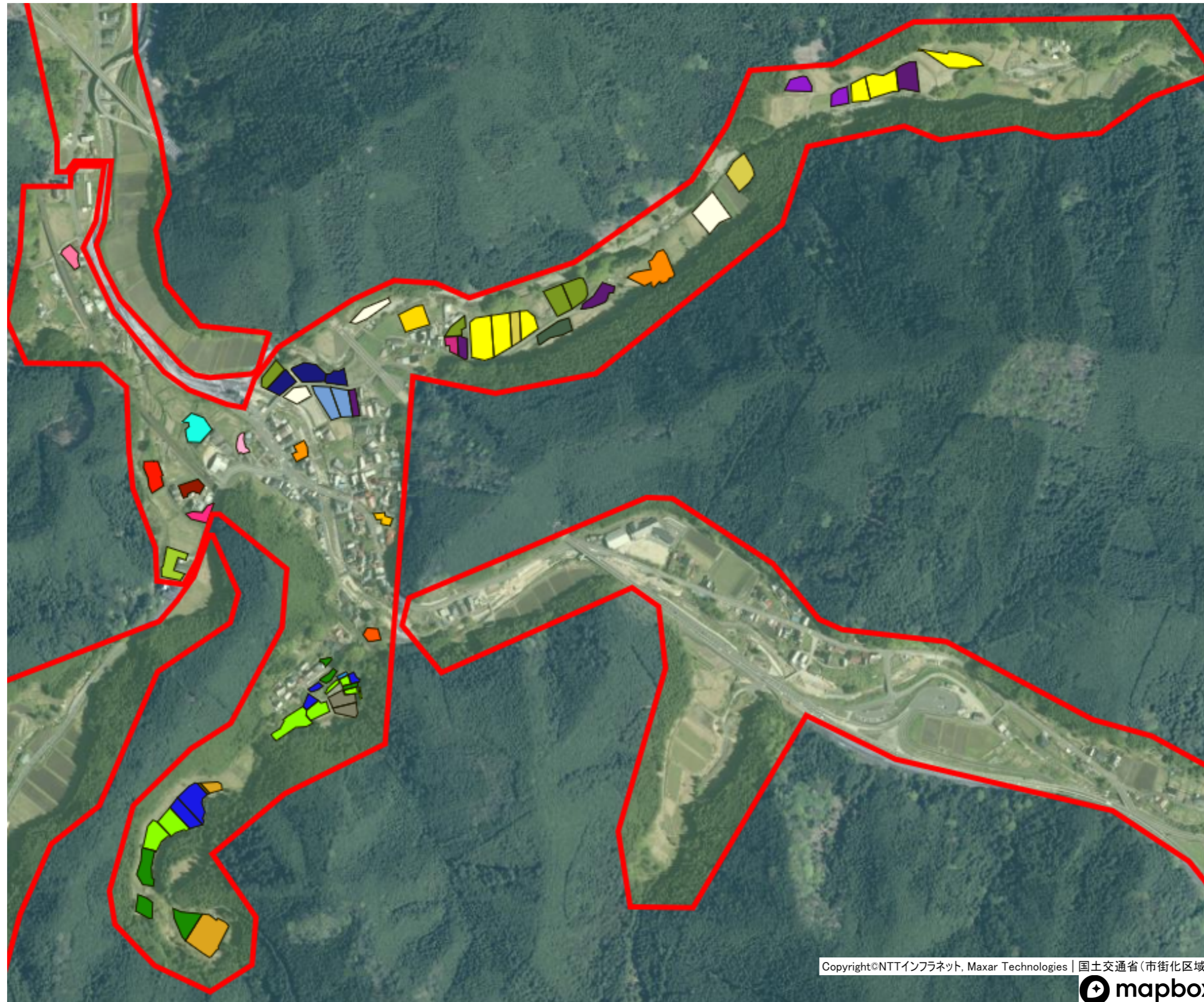
以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

個人での米作りでは採算が合わないので、複数人でマイナスを避ける。  
農地だけでなく、機械の集約化(共同利用)を図り、安価で利用できるようにする。  
地域内の畜産農家の継承を検討する。  
意欲のあるIUJターン者に来て貰うために生計が成り立つよう、行政の支援が必要。

# 中原地区目標地図



目標地図(確定)

- A
- B
- C
- D
- E
- F
- G
- H
- I
- J
- K
- L
- M
- N
- O
- P
- Q
- R
- S
- T
- U
- V
- W
- X
- Y
- Z
- AA
- 検討中農地